



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

第29回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

講師: 村瀬幸浩

(日本思春期学会名誉会員、“人間と性”教育研究協議会幹事)

いま、男子の性は 私は大学生に何を学ばせようとしたか

2014年12月12日(金) 16:30~18:30

於 一橋大学・佐野書院(JR 中央線国立駅南口より徒歩約12分)

◆講演要旨◆



26年の間に私の講義のポイントは動いてきましたが、5年ほど前から今回のテーマ「いま、男子の性は～私は大学生に何を学ばせようとしたか」に落ち着いてきました。男子の性というどうも男性にのみ焦点が当たるように思われるでしょうが、女子がこのことを学ぶことにも格別の意味があります(ということ女子学生から学びました)。同時に女子の性について男子が学ぶことも同様に大きな意味があります。要は「関係性」のもんだいですから、当然ではありますが、そのことに気づくかどうかは生涯の性と生にとって決定的に大きなことだと思います。

◆講師紹介◆

本学で26年間にわたり「ヒューマンセクソロジー」を担当し、単なる異性間の性教育を越えて、個人の性を見つめ直し、そこから支配-被支配ではない人間同士の「柔らかな関係性」を育てることを提唱してきた。長い研究・教育経験を踏まえ、近著では、あらためて「男子」「男性」を見つめ直すことを通して、その新たな関係づくりに役立つものを論じている。【主な著書】『男子の性教育-柔らかな関係づくりのために』(2014年、大修館書店)、『恋人とつくる明日』(2006年、十月舎)、『男性解体新書』(1993年、大修館書店)、『性教育のこれまでとこれから』(1990年、大修館書店)など。

司会: 坂なつこ
(本学社会学研究科教授)

連絡先:
ジェンダー社会科学
研究センター
cgrass@soc.hit-u.ac.jp